

館報

参加するって
楽しい!



6月号

No. 806

令和5年
(2023年)

やまがた



常連さんを大事に

ささかわ ひでき
笹川 秀樹さん (小坂)

1年を通してりんご、ブドウ、長いもなどいろいろな作物を栽培している観光農園『ささ園』の笹川秀樹さん。この日はサクランボの周りの葉を落として陽当たりを良くし、色を付ける作業を行っていました。6月中旬から出荷が始まる前の重要な作業のなか「サクランボは松本地域では数少ない経営農家、地元地域では難しい面もあるがお客さんに収穫体験を楽しんでいただければ」と真剣な眼差しで話してくれました。

(6月2日 『ささ園』サクランボ畑にて)

働
姿

告知板

令和5年度

“第39回 夏祭り山形じゃんずら”開催!!

今年は4年ぶりに山形村の夏の風物詩“夏祭り山形じゃんずら”が開催されます。皆さんぜひ、ご参加ください★

【各種募集】*****

- ①踊り連：クラブなどの参加お待ちしております。
- ②花火寄付：花火の一般寄付を受付けます。
- ③じゃんぷろ会員：10～20代中心のじゃんずらについて考えるワーキンググループです。

※①、②の詳細は館報と一緒に配布、回覧されるチラシをご参照ください。

※③のご応募は右のQRコードから →



お問い合わせ 夏祭り山形じゃんずら実行委員会
☎0263-98-3155

5月14日(日)、トレリーニングセンターにて、令和5年度Yふるさとレンジャー隊の認定式が行われました。村内在住の小中学生からなるレンジャー隊員と、その活動を支援するシニアサポーターに、認定証とレンジャーハットが授与されました。今年度から新たに加入したレンジャー隊員も多く、今後の活躍に期待です。

『山』 Yふるさとレンジャー隊 今年度のテーマは、

今年度は『山』をテーマに活動します。山で調べてみたいことをグループに分かれて話し合い、全体で共有しました。レンジャー隊員を中心に活発な意見交換がされ、大いに盛り上がりました。



芦沢園長は「園内では毎月1回避難訓練を行っていますが、災害時に保護者の方が迷わず園児の迎えができるように備えています」と話してくれました。

山形保育園 引き渡し訓練

5月31日(木)、山形保育園にて引き渡し訓練が行われました。震災を想定したメールが配信されたのち、保護者が園児を迎えに行く訓練です。

最初に園庭へ園児と職員が避難し点呼、全員の無事を確認して各クラス前に移動し保護者を待ちます。先生方の緊張を感じたのか、園児も静かにまじめな顔で待機していました。迎えの保護者を見つけた子ども達の安心した顔が、印象的でした。



責任者であるPTA施設部長の島田洋さん(小坂)は「前日の雨の影響もなく、無事行うことができました。新しい方法で慣れないところはありました。予想より多くの資源物を回収できたと思います」と話していました。

山形小学校 PTA資源物回収

6月3日(土)、山形村役場の駐車場を借りて、山形小学校PTAによる資源物回収が行われました。

約3年ぶりとなる開催にあたり、従来の方法を見直し、各家庭から自家用車で回収場所まで運んでいただく「ドライブスルー方式」が採用されました。子どもたちに資源物を持たせて歩かせる危険性を排除し、各地区での集積から分別、移動してくるパッカー車への積み込みというPTAの作業の負担も減少することができると話します。

山すそ

先月5月号の館報6面で「公民館」特集を組んだが、その事業を行う上で切り離せない「コミュニティ(区や常会など)」についても

再考が必要な時期にきているのではないだろうか▼地方には前記のような小さなコミュニティが大体存在する。しかし中には、それを面倒臭いと感じる方もいる。ところが、そのお陰で防犯・防災に繋がりが、ゴミ出しルールが守られ、地域住民の情報が共有され、生活支援に繋がることがある。今まで我々の村にもそんな慣習が根付いていたのだろうか▼昨今は公民館事業の継続が難しいと感じる。それは高齢化や核家族化問題などでコミュニティ自体の継続も難しくなってきたからだと感じている。もし今後、都市部のようにコミュニティが希薄になれば、今まで享受してきた恩恵が無くなると共に、極論ではあるが、犯罪(特に空き巣)や住民トラブルの増加に繋がるかもしれない▼これからは時代に即した「皆が気持ちよく、安心・安全に暮らせるコミュニティ」のあり方を模索し、地域の住民が楽しく公民館事業を行えるコミュニティの創出が必要な転換期ではなからうか。

図書館からのお知らせ

「ピオトープで、水辺の生きものと触れ合おう」参加者募集！

日時：7月23日（日）
9時30分～11時30分

場所：下大池八幡神社の境内集合
講師：アクアの会 上條一則さん
持ち物：水中の生き物をすくう道具
入れ物
ぬれてもいい靴
着替え

定員：20人
お問い合わせ・申し込み
山形村図書館 ☎0263-98-3155

※今年の図書館夏休みのテーマは、
「めざせ、虫博士！」
虫に関する本を多数集め展示します。
7月22日～8月23日まで

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.64

編集＝山形村図書館

『図書館の未来を語る』 ～複合施設ワークショップ～

6月3日(土)、トレーニンングセンターで、複合施設ワークショップが開催されました。全4回に分けて各回テーマを決めて開催されたワークショップの記念すべき初回は『図書館』がテーマ。県図書館協会副会長の伊東直登さんを調整役に、参加者17人を2グループに分け、ハード面、ソフト面、三機能の融合の観点で、意見を寄せていただきました。また、「木をふんだんに使った建物を」「カフェスペースがほしい」「介護者や、ジェンダーに配慮したトイレの設置」「座り心地のいいイスやソファ」「アットホームでくつろげ



る今の良さを残したい」などなど。身を乗り出して付せんを貼る参加者。こんな図書館にしたいという熱い思いがあふれたワークショップになりました。
第2回はミュージアムがテーマに開催され、第3回は居場所、最終回は施設全体についてのワークショップが予定されています。村民のみなさんのご意見をください。そして、いいものを創っていきましょう。
旧ふるさと伝承館×図書館コラボ「帯(おび)」展開催
ふるさと伝承館は、老朽化のため令和2年に閉館しました。収蔵・展示されていた資料は現在、仮の収蔵庫に移されています。貴重な資料をご覧いただく機会を増やそうと、不定期ですが図書館で展示しています。
今回はこれらの資料の中から、大正～昭和にかけて使われたさまざまな「帯(おび)」を図書館内に展示しました。冠婚葬祭の折に、山形村婦人会によりレンタル



「情報が古くなってきているから、更新したいね」「このジャンルはよく読まれたから、買い足そうか」「このふりがなだつたら低学年でも大丈夫だね」「この本は〇ちゃんど☆ちゃんが、こっちは〇〇ちゃんが喜んでくれそう」子どもたちの顔を思い浮かべながら本を選んできました。
欲張って膨大なリストになりました。ここからさらに精査した本が図書館の棚に並びます。ご期待ください。
5月23日(火)、中南信の書店主催の児童書展示会に行ってきました。体育館くらいの広さの会場に、各児童書出版社の本が所せましと並べられています。実際に本を手にとって吟味できる貴重な機会です。
「情報」が古くなってきているから、更新したいね」「このジャンルはよく読まれたから、買い足そうか」「このふりがなだつたら低学年でも大丈夫だね」「この本は〇ちゃんど☆ちゃんが、こっちは〇〇ちゃんが喜んでくれそう」子どもたちの顔を思い浮かべながら本を選んできました。



されていたものです。着物の帯ならではの繊細で華やかな意匠にうつとりします。しょうゆのシミか？と思われる汚れすら、当時をしのぶよすがとなりました。
「この時代にレンタルの仕組みを作った婦人会もすごいよね。SDGsの先端だね」という声も聞かれました。
図書館の本はこんな風に購入しています～児童書展示会～
5月23日(火)、中南信の書店主催の児童書展示会に行ってきました。体育館くらいの広さの会場に、各児童書出版社の本が所せましと並べられています。実際に本を手にとって吟味できる貴重な機会です。

多数の新種を発見し命名した「日本植物学の父」牧野富太郎。波乱万丈の人生を、美しい植物画とともに辿ります。
『農業をささげる生きもの図鑑』
谷本雄治(小峰書店)
地味にスゴい。田んぼや畑で大活躍の虫たち。「畑で会ったら感謝しろよ」(BYカマキリ)
新着DVD
『土を喰らう十二ヵ月』『利休にたずねよ』『疎開した40万冊の図書』『ファンタスティックピースト③』
他



(平凡社)

おすすめ新着本紹介
BOOK 64 新着本
『乾物レシピ』石原洋子(東京書籍)
乾物は常温で長持ち、栄養が凝縮、うまみがアップ！いいことづくめの日本のエコ食品です。滋味あふれる86品を紹介しています。
『瓢箪から人生』
夏井いつき(小学館)
テレビ番組「プレバト」の、辛口の講評で人気を博す夏井いつき。彼女自身の人生を綴った45編のエッセイです。
『牧野富太郎』(別冊太陽)
多数の新種を発見し命名した「日本植物学の父」牧野富太郎。波乱万丈の人生を、美しい植物画とともに辿ります。





生き生き塾 開講式

おやし塾開講式

未来塾開講

5月23日(火)、ト
レーニングセン
ターで、生き生き
塾の開講式があり
ました。その後、仲間と意
見を出し合いながら年間計
画を立てました。新型コロナ
ウイルス感染症の影響で
昨年度は実施できなかった
バスハイクをはじめ、四季
を感じられるイベントも数
多く盛り込まれ、あつとい
う間に予定が埋まっていき
ました。「活動時間が足りな
い！」という声も聞かれ、活
動への大きな期待が感じら
れました。

5月26日
(金)、トレー
ニングセン
ターで、今
年度の『お
やし塾』の
開講式があ
りました。
まず、皆
さんは『おやし塾』をご存知で
すか？山形村のホームページ
にもありますが、概ね60歳以
上の男性でしたら誰でも参
加できる公民館講座です。
四季に富んだ景色や旬の素
材を楽しんだりときまざま
な活動をゆったり楽しく
行っています。取材日は今
年度の活動内容と日程の打
ち合わせがありました。
今年度は新規参加者がな
く、昨年度と同じ顔ぶれで
スタートとなりました。お
やし塾は毎月の活動への飛
び入り参加も可能です。ぜ
ひ楽しみながら一緒に交流
の輪に加わりませんか？



現在、
生き生き
塾では19
人の仲間
で活動し
ています。
新しい仲
間も随時
募集して
います。
関心のある方は山形村公民館(02663・98・3155)
までご連絡ください！

5月27日(土)、トレーニング
センターで、今年度のやまが
た未来塾が開講しました。
未来塾は自学自習を基本と
して学習支援員や信州大学の
学生がサポートしながら学習
の場を提供するもので、午前
中は小学生、午後から中学生
が参加します。また、お昼に
は、『安全な学校給食を守る
会未来塾部会』による昼食提
供もあります。
初回となるこの日は名札作
りを行い、アイスブレイク(伝
言ゲーム)、自由課題に取り
組みながら信大生と交流も深
めていきます。児童・生徒た
ちからは「お兄さんやお姉さ
んが優しくて良かった！もつ
と仲良くなりたい」と話して
くれました。
次回か
らはアイ
デア作
なども始
めていく
予定です。
学びの楽
しみが広
がってい
きますね。



上竹田分館 新Tシャツ

デザイン決定！



デザイン決定を記念して 左から宮沢栄上竹田分館長、
宮澤侑来さん、塩原尚陽さん



新たなTシャツデザイン

新型コロナウイルス感染症
による行動制限が緩和され、
さまざまな活動の活発化が予
想されるこの夏、上竹田分館
のTシャツが新たに作られま
す。デザインには、鉢盛中学
校3学年宮澤侑来さん(上竹
田)の書が入り入れられまし
た。宮澤さんは、通っている
書道教室の先生である塩原
尚陽教範(中大池)とご家族と
話し合って、書の内容とデザ
インを作り上げたとのことだ
す。「小学校1学年から習字
を始めて、うまくいかない
きもこつこつと練習を続ける
ことで上達してきました。そ
ういった積み重ねがより良い
明日へつながっていく、とい
うことを書に込めました。ま

た、父の名前でもある大好き
な『輝』という字も入れていま
す」と宮澤さん。塩原教範は
そんな宮澤さんのことをとて
も努力家であると話されてい
ました。
上竹田分館長の宮沢栄さん
は、「新型コロナウイルス感
症での自粛期間を経てこれか
らを進んでいくために、前途
のある上竹田の子どもにもT
シャツの文字を書いてもら
うと、分館のメンバーで話し
合って決めました。慣例だと
『上竹田分館』の文字だけでも
いいが、この機会に今の宮澤
さんの想いをこめたメッセー
ジを書いてもらいました。地
域のあらゆる行事で着ていき
たいです」と話してくれました。

春の環境整備

6月4日(日)、村内各地で春の環境整備が行われました。今年はこれまで気温が高く、雑草も例年より伸びていて、整備に一苦労しました。



晴天に恵まれ、多くの方が環境整備に参加していました。

山形小学校PTA作業



5月20日(土)、山形小学校でPTA作業が行われました。普段では手の入らない廊下のワックスがけ、側溝の泥上げなどを行いました。この日は好天に恵まれ、水を抜いて池の清掃もでき、遠くから魚の泳ぐ様子が分かるほどきれいになりました。児童のために、保護者や先生方が一生懸命に作業している姿はとても輝いて見えました。

山形保育園環境整備



5月27日(土)、山形保育園で環境整備が行われました。今回は主に5歳児の保護者と先生方で玄関や駐車場周りの草刈りを行いました。登園時に目に入る植栽周辺や毎日歩く通路の部分も入念に行い、1時間ほどの作業で見違えるほどきれいになりました。

きれいになりました☆

さあがんばるぞ!

還暦を祝う会よりお知らせ

☆還暦を祝う会開催

日時 8月14日(月)午後5時
場所 トレーニングセンター
ふるさと大ホール
会費 5千円(当日現金します)
参加対象者

昭和37年4月2日から、昭和38年4月1日生まれの方で、村内在住または村に關係のある方。出欠 8月2日(水)までに事務局までご連絡ください。

☆還暦を祝う花火打ち上げ寄付金募集

還暦を祝う会と同日に開催される山形じゃんすらにおいて、スターメイン打ち上げを計画しています。還暦を祝う会参加対象の方で、趣旨にご賛同いただける方は7月5日(木)までに口座振替にて寄付のご協力をお願いいたします。なお、口座の詳細は、事務局までお問い合わせください。金額 お一人一万円

お問い合わせ先
事務局 小林

☎090・3137・5443



農業近代化の礎いしづえ

上大池機械化協業組合解散式

5月1日 上大池コミュニティセンター

大型トラクターや水稲の育苗で地域の農業を支えてきた上大池機械化協業組合が、昭和45(1970)年から53年の歴史に幕を閉じました。上大池コミュニティセンターでの解散式では、最後の組合長、三村実さんと米賣の本庄村長から、組合の長年の功績を称える挨拶がありました。そして、清算書報告の後、初代から組合の役員をされてきた瀬川祐司さんから「50年の歩みを語る」と題したスピーチが披露されました。



瀬川祐司さん

「結成時、スプリングクラーを作ったり、道路を作ったり、構造改善の区画整理が行われていた目まぐるしい時期だった。当初、山形村ではワサビ大根や「ママ・グッピー」

という銘柄のピーマンの栽培が盛んだった。ピーマンは袋詰め、6年を下火になってしまった。その後はキャベツが人気で多くの人が参入し、集荷場から溢れてしまうほどの盛況ぶり。こちら6、7年で減少していったが、Mなら10個、Lは8個、2Lは6個入りという定数詰めは市場で好評で、出荷規格の先駆けになったこともある」など、熱しやすく冷めやすい山形村農業の歴史を振り返る興味深いスピーチとなりました。最後に瀬川さんは「村にとつては小さくても、大きな利益をもたらした組合だったと思う」と締めくくりました。

当初、大型トラクターは個人で導入するなど考えられなほどのは高級品で、村近辺では最初に塩尻に2、3台、次いで山形村に2、3台導入された程度の数しかありませんでした。上大池の機械化協業組合が結成され、大型トラクターが導入されると、耕作面積・時間が劇的に改善されていきました。トラクターの操作はオペレーターが担い、最盛期では10人のオペレーターが交代でトラクターを操っていました。時には機械化が遅れていた諏訪の圃場を耕しに行くこともあったそうです。



上大池機械化協業組合農機具格納庫

水稲の育苗についてはスタート時はうまく育たない苦労があったとのことで、試行錯誤して良い苗を作れるようになったそうです。忙しい時には、農機具格納庫隣にあった育苗センターの事務所を寝泊まりしながら管理を行い、最盛期には9千枚ほどの受注がありました。しかし、ここ数年は千数百枚に減少し、水稲生産規模が縮小していることが感じられます。なお、協業組合解散後は、農協の育苗センターが水稲苗の受注生産を引き継ぎました。



懇親会にて、昔話は尽きず

機械化協業組合の目的は作目の数を減らして集団栽培を推進、合理的に主産地化を目指すことでした。やがて農業者の所得向上によって個人で機械を揃えられるようになり、最盛期には70名だった組合員も最終的には20名まで減少しました。今はまた栽培作目が増えてきた山形村ですが、長芋や白ネギ、葉物野菜、スイートコーン、スイカ、リンドゴを軸とした産地化は成功し、組合の目的は達成されたのではないかと思います。そして、農業近代化の礎になったのは、紛れもなく各地区の機械化協業組合の功績であったと思います。

今回の上大池での解散は良い意味で時代が進んだ証であるのかもしれませんが。

交通安全運動出陣式

5月11日(木)、春の全国交通安全運動出陣式が行われました。

山形村管内は交通事故が多発しています。コロナ禍も落ち着き人の動きが多くなることで交通事故の増加が懸念されます。

ドライバーの皆さんだけではなく、歩行者・自転車の方もルールを守って交通事故が起きないようにしましょう。



おめでた字・題

瀬川 航平コウヘイ 拓哉 美聡 上大池

おくやみ

赤堀 久代 88歳・上大池
市川 一成 86歳・上大池
上條 きみ子 81歳・小坂
百瀬 ミヤ子 91歳・下竹田
中川 千代子 98歳・上竹田

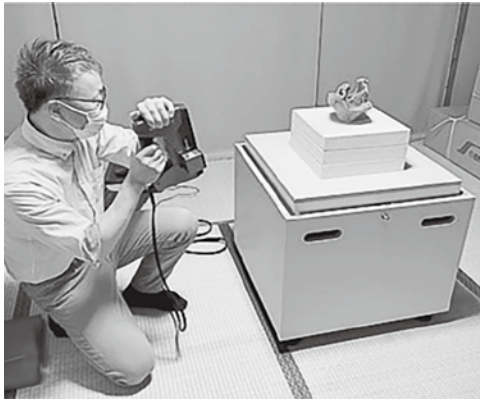
車系 ⑨

老朽化のため令和2年度に閉館された「ふるさと伝承館」。伝承館では山形村の遺跡で発見された土器や、村民が使っていた民具、衣装など、山形村の歴史を物語るたくさん資料が展示・収蔵されています。これらの貴重な資料をもっと多くの方に知ってもらうために、本年度動き出した新プロジェクトをご紹介します。

カプセルトイ。通称「ガチャガチャ」と呼ばれるおもちゃを、実際に購入したことがある方もいると思います。このたび、鉢

盛中学校の3年生が総合的な学習の時間『白峰タイム』の時間の中で、県宝土器のガチャガチャ制作にチャレンジすることとなりました。山形村の縄文時代についてや、実際の県宝土器を間近で見えて勉強したあと、ミニチュアファイギュアになつた土器のガチャガチャファイヤー（いわゆる説明書）を自分で作り、最終的には公共施設に設置・販売する予定です。

授業に先立ち、今回のプロジェクトに参加していただいている業者の方が土器を3Dスキャナーで撮影してくださいました。小さいものは、大人の両手で持てるサイズの土器ですが、大きいものだと1m近くあり、大人2人がかりでも持ち上げることが大変な土器もあります。一つひとつの土器には全く違う模様があり、穴が開いていたり、凹凸があったり、縄文時代の暮らしを想像しながら撮影していただきました。完成した土器のミニチュアファイギュアは手のひらに乗るサイズになります。また、土器そのものをスキャンしているの、縄文時代の人たちの細部までのこだわりや、土器の「顔」をしっかりと見ることが出来ます。今後、中学生の皆さんと多くの方に手に取ってもらえるよう、制作していきたいと思いますので、お楽しみに！



3Dスキャナー撮影中



大きな土器

小さな土器

釣手土器 (三夜塚遺跡出土) 県宝土器 深鉢形土器 (殿村遺跡出土)

今が旬のバスケ!

5月16日(火)、山形小学校体育館で「春」のチャレンジ講座バスケットボール体験会が開催されました。信州ブレイブオーリアーズ元キャプテンの武井弘明氏を講師に招き、ボールハンドリングやシュートなどの基礎やテクニクを教えていただきました。中でも鬼ごっこ形式のドリブル練習ではみんなで駆け回り、楽しそうに学んでいる姿が印象的でした。バスケットの技術ばかりでなくスポーツや学校生活での心構えも学べて子どもたちにとって有意義な時間になったのではないのでしょうか。



バドミントン初心者初級者交流大会第10回記念大会



5月28日(日)、トレーニングセンター体育館にて中信地区のバドミントン愛好者による大会が開かれ、中学生から年配者までのおよそ40名が集い汗を流しました。午前中に4チームに分けてゲームを楽しみ、午後はお楽しみ抽選などをして交流を深めました。コロナ禍を受け昨春秋、規模を縮小して再開されましたが、かつての規模での開催は3年振りとなりました。

来年、山形村は開村150周年を迎えます。
 知っているようで意外と知らない私たちの山形村を、より深く、詳しく知っていただくために、マニアックなクイズを企画しました。まずは、頭の体操代わりに、まちがい探しをお楽しみください。この企画は、隔月で行っていく予定です。チャレカン！をこれからもよろしくお願いします。



Vol. 1

8つのちがい

下の左右のイラストの違い、見つけられるかな？



山形村開村150周年記念 超マニアック三択クイズ！

問題1

大池村・小坂村・竹田村が合併して山形村になったのはいつでしょうか？（合併御布達書の日付は？）
 ① 明治7年4月1日 ② 明治7年10月22日 ③ 大正3年12月4日

問題2

山形村の初代村長は誰でしょう？
 ① 永田 久吉 ② 唐沢 俊樹 ③ 中村 太八郎

問題3

合併当時の山形村の人口は何人でしょう？
 ① 3,031人 ② 5,292人 ③ 8,726人

～館報やまがたへの情報提供募集中～
 身近な情報・感想をお寄せください！

フォーム 右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってください。

電話 0263-98-3155 (山形村公民館)



正解は、次号で！

山形村公民館報『館報やまがた』No.806 6月号 令和5年6月発行
 編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷／カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見るができます→

